



学校だより 人・地域・学校を結ぶ



# むすぶ



「立志」を育み「気概」を養う

新潟市立結小学校

令和5年12月15日号



## いじめについて（全校朝会の話より）

校長 北村 宏



（前略）今日12月4日から12月10日までの1週間は人権週間です。人権というのは、みんながもっている自分らしく生きる権利のことで、言い換えれば、みんなが「自分らしく生きていよ」ということです。

自分らしさと言ってもピンとこないかもしれませんが、一人一人顔が違っているように、背の高さ、足の速さ、絵がうまいとか、人それぞれです。今日は書道で表彰された人もいました。その他、性格、年齢、性別、出身地、病気や障がいがあるかまで全部含めて自分らしさです。大事なことは、誰かの人権をじゃましない限り、みんな違ってみんないいということです。「授業中おしゃべりしても自分らしいからいいんだ」ではなく、それは静かにしてほしい人の人権をじゃますることだから、授業中のおしゃべりはだめですね。

人権が守られないことを難しい言葉で「人権侵害」といいます。一番の人権侵害は『戦争』だと思えます。そんな状況では自分らしく生きることができません。前の全校朝会で話したように、日本は「もう戦争はしない」という大事なきまりを決めたので、今日本では戦争が起こっていません。身近なところでは『いじめ』です。いじめがあったら、自分らしく生きられません。

実は日本では、10年前にいじめについても大事なきまりを決めました。『いじめ防止対策推進法』というきまりです。この中にはいくつか大事なことが決められています。まず「小学生はいじめをしてはいけません」ということ。こんなきまりがあったこと知っていましたか。でもいじめは人権侵害なので納得でしょう。私が少し驚いたのは「いじめとは、誰かのしたことが、別の誰かの体や心を傷付けることです」とあることです。みなさんはどう思いますか。

私はそれまでいじめというのは、大勢で一人の人をとく、強い者が弱いをとく、何度も繰り返して、たたいたり、蹴ったり、意地悪したり、悪口を言ったりすることだと思っていました。みんなやおうちの人、いじめの子＝わるい子というイメージをもっているのではないのでしょうか。

でもこのきまりにはそれは書かれていません。だから、いじめのつもりがなくても、たとえ1対1でも、対等な立場でも、たった1回でも誰かを傷付けたらいじめなのですね。うっかり言った言葉が誰かを傷付けてしまうかもしれない。いじめをしてしまうかもしれないし、いじめを受けてしまうかもしれない。いじめは誰にでも起こるかもしれないのです。だとすれば、友達や心を傷付けないように心掛けたり、わざとでなくても傷付けてしまったら、素直に謝ることがとっても大事なのだと思うようになりました。それが人を思いやるということです。

人権週間で皆さんにやってほしいことが3つあります。①自分のよいところに気付きましょう。②友達のよいところにも気付いてください。③自分のよいところと友達のよいところが違っていることに気付いてください。6年生はもう一つ。④今、社会でどんな人権問題があるのか、社会にも目を向けてください。

この前の児童朝会で、いじめゼロのキーワード『イケボのサカナ』が発表されました。イじめをしない。アんかをしない。アう言を言わない。ア別をしない。アなしくなることをしない。アか間外れにしない。生活委員会のみなさん、これで合っていますか。先生方だけでなく、皆さん自身がいじめをなくそうと考えていてくれることをとてもうれしく思います。



# いじめ防止への取組

豊かな心部主任 伊與部 里香

結小学校では、一人一人の子どもが安心して過ごすことのできる学校づくりを目指しています。そのために、いじめを生まない風土づくりを進めています。主な取組は以下の通りです。

- ☆ どの子にとっても分かりやすい学習課題とまとめと振り返りのある授業づくりを推進します。また、友達の考えを大切にするような話し方と聞き方を指導します。
- ☆ 認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う 温かい学校・学級風土を醸成します。そのために、学級活動や縦割り活動で、友達同士で支え合う経験を積み重ねていきます。
- ☆ 取り組む内容や方法を自分で考えて決定ができるようにします。そのために、児童会活動で目的意識をもち、自己決定できる場を設定します。
- ☆ 人やものとのかわりを通して、コミュニケーション力や課題解決力、規範意識を育みます。そのために、計画的に体験活動に取り組んでいきます。

子どもたちが主体的に学習に参加できるような授業を展開しています。子どもたちの「できた」「分かった」を大切にしています



縦割り班活動では、みんなの思いを大切に、遊びや清掃の分担などを決めています。思いやりや責任の気持ちを育てます。



毎週木曜日のピア・サポートタイムでは、人のかかわり方を学び、そのかかわり方でかかわる場を設定しています。



子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができるよう、子ども同士のつながりを大事にしていきます。

# エンジョイランド2023

児童会担当 勝山春香

12月1日(金)に、児童会祭り「エンジョイランド 2023」が行われました。3年生以上の学級では、全校のみんなが楽しめるような内容を考え、出店の計画や準備に取り組みました。

今年度は、結幼稚園の年長さんを招待し、一緒に楽しみました。当日は気温が下がり、寒い日になりましたが、どの出店も子どもたちの笑顔があふれていました。



# 本物に触れる

## ～今年度の体験活動を紹介します～

主幹教諭 渡部香世子

結小学校では、子どもたちの考える力、生きる力を育むために、様々な体験活動を行っています。本物に触れる体験活動を行うことで、豊かな人間性、主体的な学び、自ら考える力など、これからの社会をたくましく生き抜く力の育成につながると考えるからです。各学年で行う体験活動では、それぞれの学年の学習内容や発達段階に応じた自然や社会の現実に触れることで、感動したり驚いたりしながら、「なぜ?」「どうして?」と考えを深めたり、実際の生活や自然、社会とのつながりについて学んだりすることができます。

今年度も、各学年で校外学習や体験活動に取り組んできました。その一部を紹介します。



1年生 草花で遊ぶ  
(みそら野公園)



2年生 海の生き物に触れる  
(マリニピア日本海)



3年生 昔の結を知る  
(改観寺)



4年生 車椅子生活を体験する



5年生 自分の手で稲刈りをする



6年生 歴史を調べ体験する  
(埋蔵文化財センター)